

メキシコだより 4月号

川田 佑樹

4月の生活の中心は学校でした。そのためたくさん書くことがあるわけではないのですが、今月もメキシコについてお伝えしたいと思います。学校の授業だけではなく、4月の中旬には日本でいうところのゴールデンウィークがありました。この休みをメキシコではセマナサンタといい、英語圏ではイースターとしても知られています。この休みは合計9日間あるので日本の今年のゴールデンウィークと同じくらいの長さでした。この休み期間中のケレタロへの旅行、メキシコで人気のスポーツについて話をしたいと思います。

ケレタロ

今回はメキシコシティの北西に位置する小さな世界遺産に登録されている都市へ行きました。私の所属する大学のOB会の方がこの地に住まれており、また長くこちらで事



業を営んでいるためご挨拶もかねて訪問することに決めました。ケレタロの中心街はそこまで広くなく、一日あれば余裕をもって回ることができます。昔、ケレタロでは生活水の不足に困り、水を引き込むために町を横断する非常に長い水道橋が作られました。ケレタロはこの水道橋があることで有名です。ケレタロから車で1時間程度郊外へ向かったところには世界で3番目の大きさを誇る一枚岩の Peña de Bernal がそびえたっています。この一枚岩は登ることが可能で、実際に登ってみる

と20分程度で上の方まで行くことができます。この周辺には特に大きな建物もなく、自然が広がっているため、登頂して一休みをしているときに空気がよりおいしく感じられました。

メキシコのスポーツ事情



過去にも度々ご紹介したようにメキシコではサッカーが人気のスポーツで

ます。試合の日になると、家族で電車、バス等に乗って試合に向かう姿も珍しくありません。ただ、全員が全員サッカー好きというわけではなく、野球好きやルチャリブレ（メキシコのプロレス）好きもいます。私の周りには驚くほどサッカー好きが少なく、聞くところによると単にサッカーに興味がない人から、サッカーがもたらす社会現象を考察したうえであまり好きではないという方までさまざまでした。そこで私も一旦サッカーから離れて、今回は野球とルチャリブレを観に行くことにしました。

メキシコでは、野球は4月から9月がメインシーズンですが、それ以外のオフシーズンに入ってもウィンターリーグと呼ばれるものが開催されており、一年を通じて野球を楽しむことができます。今回は、メキシコシティに本拠を置くディアブロスの試合を観に行きました。このディアブロスのスタジアムは、新しいスタジアムで、今年の3月後半から稼働し始めました。試合を観て、サッカーよりも比較的ファンが落ち着いていて、罵声、スラングが飛び交うこともなかったと感じました。この日はダービー戦でしたが、客の入りはあまり多くありませんでした。また、サッカーの場合だと人気の試合の際は、チケットの価格が500ペソ(1ペソ=6円の場合3000円

程度)を超えることもありますが、野球ほどの席も 300 ペソ未満で売られており、ダービー戦でもこの価格で売らなくてはいけないほど、観客集めに苦労しているのかと思いました。

ルチャリブレは、メキシコのプロレスです。選手がマスクをかぶり戦うのが特徴で正義役のテクニコと悪役のルードに分かれています。試合は6試合か



らなっており、デビューして間もないチャドール(ルチャリブレの選手の事)の試合から始まり、ベテランのルチャドールの試合で終了します。プロレスと似ていて本気で戦う感じはあまり感じませんでした。1つのショーを観に行く感覚で行けば面白く感じるかもしれません。観客は集まっていて、会場はほぼ満席でした。

このようにサッカーのほかにもメキシコ人が愛好しているスポーツはあります。スポーツだけではなく多様な文化に触れて、メキシコを知っていきたいです。

